



☆学校見学会（進路）を開催しました☆

桐生・みどり地域の就労支援関係者 20 名をお迎えし、学校見学会を開催しました。当日は高等部の授業見学（商業科目、作業学習等）や施設見学（バリアフリー環境）をはじめ、卒業生・在校生が作成した「ミラコン（未来を見通すコンテスト）」の動画視聴などを行いました。

パソコン等のスキルアップを目指すⅠ課程、協力して作業に取り組むⅡ課程、教師と関わりながら自立活動に取り組むⅢ課程と、それぞれの学習成果が表れた掲示物、段差がなく手すり・スロープが整ったバリアフリー環境など、見どころの多い見学会となりました。

中でもミラコン動画 4 本（「合理的配慮」「支援機器」「チャレンジ」「テレワーク」）は、肢体不自由者が働きやすくなるための工夫や、目標に向かって果敢に挑戦する姿など、強い発信力とメッセージ性にあふれた内容となりました。肢体不自由者の就労・生活環境がより好転していくことを強く願い、今後も見学会を始めとして機会を捉えて積極的に発信していきたいと思っています。

大々好評の「ミラコン」紹介

（高等部Ⅰ教諭が丁寧な対話を通して支援）

前期の総合的な探求の時間を使い、自分で決めたテーマについて深掘りし、まとめ上げています。そして「ミラコン」に応募しています。

合理的配慮を実現するには

群馬県立あさひ特別支援学校

これまでの就業体験や進路学習を通して感じたことや考えたことを発信。自分の状態を周囲に示した「コンディションクリップ」の活用など、私の集大成です!!

支援機器で働きやすい社会を

群馬県立あさひ特別支援学校

就業体験を通して支援機器について再認識したことを発信しています

チャレンジし続ける

ことの大切さ

群馬県立あさひ特別支援学校

不慮の事故。そして、様々なチャレンジまさに不屈の精神

テレワークでの就職に向けて

あさひ特別支援学校

「障害があっても就労を諦めたくない」テレワークについての強い思いを発信

😊 ミラコン視聴後の感想等（抜粋にて紹介） 😊

- ・助けを求めて自ら発信する姿勢や、プレゼンにまとめ上げる力、チャレンジ精神などに感動しました。
- ・生徒が自分の思いを形にして伝える大切さを認識できました。また、私たち支援者や社会がその思いをしっかりと汲み取るべきであると再認識することもできました。
- ・手すり等の環境整備だけでなく、作業しやすくするための「支援機器」も重要な合理的配慮であることを知りました。
- ・周囲に自分の状態を知らせる「コンディションクリップ」は、事業所内だけの掲示や他の利用者への展開だけでなく、企業に紹介して売り込んでもよいような秀逸なアイデアだと思います。



「ミラコン」視聴風景 ～感動の嵐～



商業科目や検定についての授業説明



3年課題研究と1年情報処理の授業参観



つききストラップとくるみボタンづくり
ICT活用（Canva）にも驚き!!